

「タイと日本における橋梁の設計、維持管理、補強に関するタイ工学会と土木学会との合同セミナー」がバンコクで開催される

構造工学委員会

睦好 宏史（埼玉大学）、岩城 一郎（日本大学）

2012年8月23日（木）9時よりタイのバンコク市内にあるタイ工学会（EIT：Engineering Institute of Thailand）において、「タイと日本における橋梁の設計、維持管理、補強に関するEITと土木学会との合同セミナー」が開催された。



写真1 埼玉大学 睦好教授による講演

はじめに、EIT, Vice President of Krai Tungsganga 博士より開会のあいさつがあり、続いて埼玉大学睦好教授より、「Seismic Strengthening of Bridges」と題した講演が行われた。なお、日本人による講演は英語で行われ、通訳によりタイ語に要約された。



写真2 会場の様子

会場は約170名の参加者を集め、終日活発な議論が行われた。

次いで、日本大学岩城教授より、「Evaluation on Properties of Concrete and Steel in PC Bridges Severely Damaged by Chloride Induced Deterioration」と題した講演が行われた。

昼食を挟み、中日本高速道路（株）の酒井秀昭博士より、「Maintenance of Cable Stayed Bridges and Extradosed Bridges」と題した講演が行われ、引き続き同 萩原直樹氏より、「Maintenance Policy of the Second Toumei Expressway」と題した講演が行われた。

続いて、タムサート大学 Amorn Pimannas 博士より、「Current Design Practice for bridges and elevated structures in Thailand」と題した講演がタイ語で行われた。

最後に、首都高速道路（株）の和田広之氏より、「Maintenance and Operation of Metropolitan Expressway in Tokyo」と題した講演が行われ、17時に盛会裏にセミナーが終了した。



写真3 主催者の集合写真

セミナー終了後、両国における橋梁の設計・施工・維持管理に関する率直な意見交換がなされ、将来にわたり当該分野の課題解決に向けて積極的に連携・協力していくことを約束した。

なお、本セミナーは公益信託「土木学会学術交流基金」による助成を受け実施されたものである。ここに記して謝意を表す。